

校長室から 19 (season 2) 「31音に熱い思いをのせて」
～神奈川県知事表敬訪問～

令和5年12月25日(月)に、文化活動の全国大会等で優秀な成績を収めた高校生が、神奈川県庁に知事を表敬訪問しました。

当日は、全7校の県立高校、横浜市立高校、私立高校の生徒が、引率の先生方と来庁し、光陵高校からは文芸部3名+文芸部の4つが対象となりました。

一人ずつ、大会での成果や、自身の作品・活動・研究等について、知事に報告し、知事から、お祝いのことばをいただきました。

報告、発表した作品を紹介します。



- ・3年 藤井 渚央 第17回全日本学生・ジュニア短歌大会 大森悦子選者賞
「いつの日か君の地層になりたくて握り返せばそっと夕焼け」
- ・2年 池野 弘葉 第18回全国高校生短歌大会 特別審査員小島ゆかり賞
「もうすでに生態系の頂点にスマホがいると知っているけど」
- ・1年 猪野田 涼奈 第5回万葉の郷とっとりけん全国高校生短歌大会 特別賞
「クロールの推進力がほしいから水彩絵の具の青を手にする」



- ・第18回全国高校生短歌大会
団体戦審査委員特別賞
池野弘葉 猪野田涼奈
鳥野空音
渡辺ほのか

それぞれが、知事や教育長などの前でも物怖じすることなく、堂々と自分の作品について報告する姿を、大変誇らしく感じました。

知事からの御質問に答えるなど、和やかなひとときを過ごしたあと、全員で記念撮影をしました。



本校文芸部は、短歌の創作を中心に活動し、たまに小説、エッセイと表現範囲を広げています。作り出される短歌の多くが、生徒それぞれの持つまっすぐな言葉遣いで表現されているのが印象的です。だからこそ、その思いが聞き手の心にまっすぐ届く。そんな現代短歌の魅力に取りつかれた部員たちの今後の活躍が楽しみです。



令和6年1月5日